



ミニミニ
講座・裏面

支援部だより



宮城県立気仙沼支援学校
校内支援だより 第7号
令和8年9月8日発行
文責：支援部 小野寺由紀

○夏の「支援会議」の御報告！

夏休みに実施した「支援会議」についての御報告です。7月21日から7月30日までの6日間にわたり、支援会議を行いました。この期間に保護者の皆様と学校の他に、一人一人のニーズに合わせて放課後等デイサービスや計画相談支援事業所の方々、保健師さんなど、多くの関係機関の方々にも集まっていただきました。お子さんを取り巻く関係者が一堂に会し、それぞれの場所での様子を共有し、伸びているところを確認し合ったり、支援方法を共有できたりと、有意義な時間となったのではないかと感じています。お忙しいところお集まりいただいた皆様、どうもありがとうございました。



【保護者の皆様からの感想】

- ・家だとまだ「手のかかる子」と思っていて、いろいろ手を貸してしまったり、「何ができて何ができない」の判断が難しいのですが、学校での様子、マザーズでの様子、いっぽでの様子を支援会議で一度にいろいろな話や様子を聴けるので、とてもプラスになりました！これからも、学校の先生方やいっぽ、マザーズの先生達みんなに支えられながら成長していったほしいなあと思います。
 - ・各関係機関の方と話すことや情報共有でき、普段の様子を知ることができました。今後も連携を取っていききたいと思います。
 - ・お忙しい中、お時間を作っていただきありがとうございました。
 - ・普段の学校や放課後等デイサービスでの様子の違いを知ることができてよかったです。
- ……などなど、たくさんの感想を寄せていただきました。御協力ありがとうございました。

<お知らせ> 第5回・第6回スクールカウンセラー来校日

保護者様 9月14日(月) 13時40分～14時10分(30分)

保護者様 10月26日(月) 13時40分～14時10分(30分)

※カウンセリングの希望がある方は学校へお知らせください。

気仙沼支援学校 電話 0226-24-3019(支援部 小野寺又は阿部へ)

裏面へ続く…

応用行動分析学（ABA）って何？～行動には理由があります～



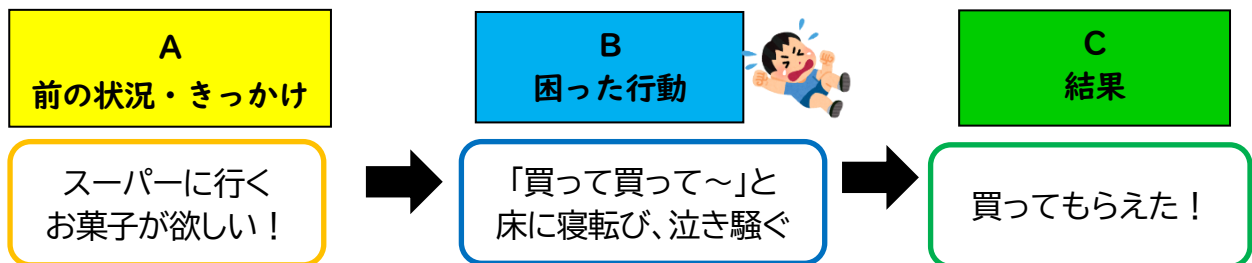
「どうして何度言ってもやらないの？」

「なぜ、この子は同じことを繰り返すの？」



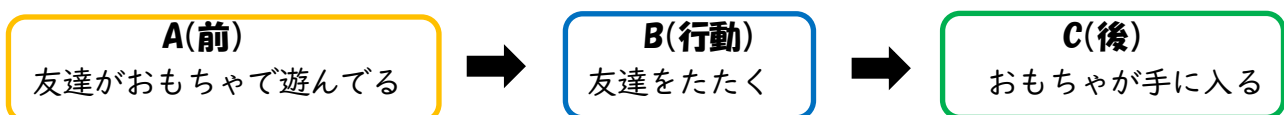
子どもの行動には、必ず何らかの理由があります。応用行動分析学(ABA)は、『困った行動をなくす方法』ではなく、『行動が起こる理由を考える学問』です。

ABA の基本 ～「行動」の前と後に注目してみましょう。(ABC 分析)～



「行動」の前と後に注目してみましょう。この場合、子どもは「寝転んで泣いて騒げば、お菓子を買ってもらえる」と学習するかもしれません。ABA では、「行動の前に何があったか？」「行動の後に何が起こったか？」を見て、行動の意味を考えます。

☆ミニ事例:「おもちゃが欲しくて、友達をたたく」☆ ABC 分析してみると…



※子どもは「貸して」よりも「たたく」方が早く要求が通った経験をしているため「たたく」を選択していたかもしれません。そこで「貸してって言うよ」「いっしょに遊ぼうって声かけようね」などの伝え方を教えていきます。

【まとめ】



ABA はペアトレの土台となる考え方！

応用行動分析学(ABA)は、特別な技術ではありません。子どもの行動を観察して、理解しようとする視点です。「困った子」ではなく「困っている行動を伝えている子」として見てみると、関わり方のヒントが見えてきます。「困った行動」の裏には、子どもたちの「助けて」「疲れた」「やりたくない」などの様々な気持ちが隠れています。「その行動で何を伝えようとしているのかな？」と考えることが支援の一步です。

※参考文献：発達の子の「困った」を「できる」に変える

ABA トレーニング 小笠原恵、加藤慎吾 著 ナツメ社